

2017年度 スローガン「前へ」～踏み出す一步が小樽を変える～

★活動報告★

◆1月第一例会◆
担当 連携力向上委員

1月7日(土)、グランドパーク小樽にて1月第一例会「新年懇親会」を開催しました。

ご来賓、シニアクラブ、近隣青年会議所と多くの皆様にご臨席賜りまして、ことを厚く御礼申し上げます。

第六十三代理事長杉本憲昭より新年の意気込みを述べさせていただきました。新三役、理事メンバー、そして新会員をご紹介させていただきました。

衆議院議員 中村裕之様より祝杯をいただき、歓談が始まりました。

今年の担当委員会である連携力向上委員会の取り組みである「つながり」の演出でシニアクラブメンバーのテーブルに各委員会がご挨拶にお伺いさせていただきました。

余興では本年の干支である酉年メンバーが会場を沸かせ、その後は毎年恒例となる餅つき。締めは若い我ら「斉唱、シニアクラブ会長 鈴木喜明先輩による「小樽JC一発締め」を行い、盛会のうちに閉会となりました。



新三役紹介



理事長挨拶



56年組(酉年)余興



連携力向上委員会集合写真

新入会員紹介

①生 年 月 日

②血 液 型

③勤 務 先

④役 職

⑤会 社 住 所

⑥趣 味

 ささき やすたか 佐々木 康孝 ①平成3年5月21日 ②A型 ③北海信用金庫 ④ ⑤稲穂2-15-20 ⑥野球	 しろがね たかし 白銀 崇 ①昭和53年5月18日 ②B型 ③三本コーヒー(株) ④主任 ⑤有幌町2-18 ⑥釣り・旅行	 もりした みき 森下 未姫 ①昭和57年12月27日 ②O型 ③大同生命保険(株) ④ ⑤札幌市中央区北3条西3丁目1 ⑥映画鑑賞	 あかさか えいじ 赤坂 英二 ①昭和56年12月19日 ②B型 ③(株)三栄工業 ④営業主任 ⑤色内3-12-1 ⑥
---	--	---	--



おだ かずあき
織田 和陽

①昭和59年5月11日

②O型

③(株)恵新自動車学園

④常務取締役

⑤新光2-20-33

⑥ゴルフ・スキー

体験JC募集中

近年、小樽市の人口減少、メンバーの在籍年数の短期化などにより会員数が減少しています。

本年度は新しい取り組みとして、(一社)小樽青年会議所の活動を肌で感じていただくことを目的として、例会やオープン事業に参加していただく『体験JC』を実施しております。

(一社)小樽青年会議所は会員拡大に組織一丸となって取り組んでおりますので、先輩諸賢、関係各所の皆様方にもご協力いただけると幸いです。

◆編集後記◆

2017年度総務・拡大意識向上委員会として「いぶき」周年号を発行させていただきました。

いぶき、ホームページを通して今後も(一社)小樽青年会議所の活動を各方面の方々に知って頂ける広報活動を行ってまいります。

是非ご覧下さい。

総務・拡大意識向上委員会
委員長 天野 孝太郎



こちらからも
アクセスできます



http://www.otarujc.or.jp/

◆ 成人式 ◆

1月8日(日)小樽市市民会館で執り行われた平成29年「小樽市成人式」に参加させていただきました。
小樽青年会議所に今年から入会された新会員を受け持つ、資質向上委員会が中心となり、晴れて成人となった小樽の未来を担う若人を祝うべく、会場内での誘導等のお手伝いをさせていただきました。



会場の様子①



会場の様子②



会場の様子③



会場の様子④

◆ 第1回資質向上セミナー ◆
担当 資質向上委員会

1月30日に小樽市公会堂にて第1回資質向上セミナー「JCの価値とは」と題し新会員だけではなく、メンバー全員に対して資質向上を目的としたセミナーを開催いたしました。講師に宮尾泰央先輩、呉政儒先輩をお招きし、ご講演いただきました。
呉先輩からは目的を持って動き始めることの大切さとそこから生まれる仲間との絆が人としての価値を高めることなどを講演いただきました。
宮尾先輩からは人に必要とされるJAYCEEになるため 兎ずは参加すること。それによって人と出合い、自分が変わる。本気でJCをやることが会社と自分のためになる。少し無理をして前に進むこと。それが未来の小樽を変えられる。町に必要な人になっていくことと講演いただきました。



セミナーの様子



講師 宮尾 泰央先輩



講師 呉 政儒先輩

◆ 北海道JCフォーラム ◆

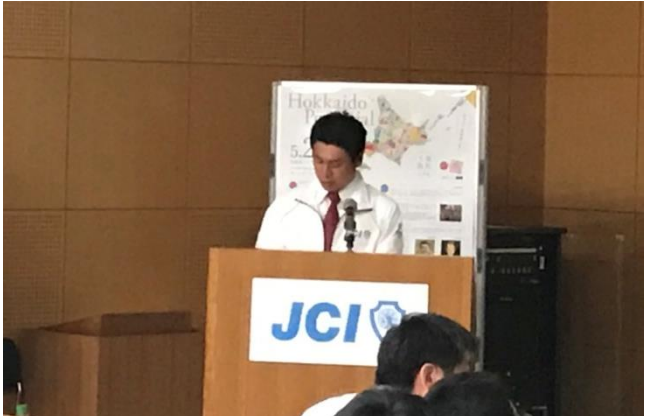
5月27日(土)札幌市教育文化会館今年のテーマは「Hokkaido Potential」と題して開催されました。

教育再生・憲法輿論確立・経済再生・起業家育成といったそれぞれのフォーラムでは専門家の先生に北海道の特性を踏まえてご講演いただきました。

メインフォーラムでは道民の行動こそが「Hokkaido Potential」であり、明るい豊かな次代の北海道創造に繋がるという意味を含め、道民の当事者意識醸成と行動に繋がる重要なフォーラムとなりました。当LOMからは北海道地区協議会・誰もが夢を描ける北海道創造室室長として出向されている山本監事をはじめ多くの出向者が活躍されておりました。LOM、そして街へ活かすことのできる多くの学びを持ち帰ることができたフォーラムでした。



メインフォーラムの様子



フォーラムの様子①



フォーラムの様子②

◆ 出向者報告 ◆

今年度の道南エリア運営会議では、地域が抱える課題の共有による道南エリア13LOMの連携の強化とアカデミー研修塾の塾生が、JAYCEEとしての自覚を持ち、地域課題を解決していく資質と魅力とを兼ね備えた人材に成長するための場を用意することに力を注ぎ、道南魂の言葉を旗印にエリアの絆を築くことを目的としています。2月11日(土)、建国記念日に行われたウィンターコンファレンスでは、道南エリア担当副会長と道南エリア13LOMの理事長との間で対談が行われ各地会員会議所間の意思統一が図られました。

また、3月11日(土)に小樽で行われた第2回アカデミー研修塾では2012年度道南エリア担当副会長を務められました、小樽青年会議所シニアクラブ 坂田理先輩に、JCを卒業してなお地域の課題に取り組む姿勢をこ講演していただきました。



講師 坂田 理先輩

◆ 出向者報告 ◆

公益社団法人日本青年会議所道徳教育推進委員会は、直接、子供たちに何かを教えるのではなく、その子供たちの身近にいる我々大人が背中を見せていくことの重要性や家庭において親子と向き合うことや躰の大切さを再認識していただけるよう運動しております。

その一つの取り組みとして、これから親になる人や子を持つ親世代に向けて 今日からやれる「親道」プログラムを全国各地で開催させていただいております。
2017年度も半年が過ぎ、出向している私自身が一番勉強をさせていただいている段階ではありますが、未来を担う子ども達に好影響を与えることのできる委員会メンバーの一員としての誇りとLOMへの感謝の気持ちを忘れず本年12月31日まで走り抜けてまいります。



出向理事 阿部 一雄君

◆2月第一例会◆
第19回小樽雪あかりの路

2月3日から2月12日の10日間、小樽の冬景色の1つとなりました。第19回小樽雪あかりの路に参画しました。今年は天気に恵まれ、また新入会員が意欲的に準備活動を行い滑り台作り、オブジェクト作り等は予定通りに進みました。

滑り台部会は、新入会員担当によるチューブスライダーに今年も大勢の観光客が訪れ、終始賑わいが絶えませんでした。

また、連携支援部会による小樽切り絵カルタをモチーフとしたワックスプレートは、最終日に杉本理事長のプレートも滑り台入口に飾られ観光客の注目の的となりました。

地域協力部会は、観光客の人気撮影スポットとなった入場ゲートの作成と毎年行われている、小学校、幼稚園、介護施設での雪像作り、滑り台作りを行いました。

総務広報部会による小樽青年会議所のフェイスブックページにいいねを押してもらったことを目的とする「いいね推進活動」は、期間中に200いいねを超える成果を残しました。

ご協力頂いた皆様、ありがとうございます。

いいね！



ワックスプレート②



会場の様子①



ワックスプレート①



プチあかり出前隊



会場の様子②

◆3月第一例会◆
担当 地域力向上委員会

3月9日(木)、小樽公会堂にて3月第一例会 魅力溢れるまちづくりと若人の重要性と未来を創るのは俺たちだ！が開催されました。

ゲストに小樽の若人(20歳前後)を招待し、若人の斬新な発想を吸収し共にまちづくりを行うことの重要性を再確認しました。

第一部プレゼンテーションでは、運河論争時の若人の活動や、様々な若人の活動をパワーポイントを使用し説明し、若人の必要性を学びました。

そして第二部プレゼンテーションでは、ゲストとメンバーが時間の経過とともにテーブルを動きながら、それぞれのテーブルで、小樽を活性化するには何が必要かや、廃校になった校舎、利用されていない歴史的建造物の活用方法など決められていたテーマについて話し合いました。

若人達と忌憚のない意見の交換を行い、私たちでは気づけなかった新たな小樽の可能性を認識することができ、終始賑やかなディスカッションとなりました。

これをきっかけに若人達との連携しての事業の可能性など、様々なことを考えさせられる例会となりました。



例会の様子



講師 上田 博和先輩



委員長挨拶

◆5月第二例会◆
担当 連携力向上委員会
総務・拡大意識向上委員会

5月20日(土)、21日(日)、八雲の地にて第12回道南エリアスポーツ大会が開催されました。

土曜日に行われたゴルフ・ディスクゴルフでは、ゴルフ部門で当LOMの中村圭助くんが、個人戦で4位となり、総合でも3位と素晴らしい成績を残しました。また、日曜日は競技ごとに見どころと笑いが絶えないものとなりました。

理事長・専務PK合戦では、理事長と専務のフライングプレイの数々による準優勝はLOMメンバーを大いに盛り上げ、新入会員中心に練り上げられたLOMPRは惜しくも3位となりましたが、LOMを団結させる成果を見せました。

そして最終競技マラソンでは、Aチームメンバーが歯を食いしばって諦めずに走った結果、最終走者が最後の最後で大逆転し2位となりました。最終的な総合順位も3位となり、来年への飛躍を予感させるスポーツ大会となりました。



LOMPRの様子



競技の様子



エリアスポーツ大会 懇親会



マラソン Aチーム



集合時の様子

◆第1回 ポイ捨て防止！
街をきれいにし隊◆

4月15日(土)サンモール一番街に集合したポイ捨て防止！街をきれいにし隊「総勢130名ほどのボランティアメンバーが街をきれいにしようと街のゴミ拾いを行いました。

今年で12年目となるボランティア活動で、我々JCメンバーは小樽雪あかりの路でも活動させていただいている旧手宮線などの清掃を行いました。

雪解けとともに毎年かなりゴミの量がありますが、他団体様と協力して街の美化に貢献させていただきました。



清掃時の様子

◆第3回 資質向上セミナー◆
担当 資質向上委員会

4月21日(金)小樽市公会堂にて第3回資質向上セミナーが開催されました。

昨年北海道地区協議会で会長をされた中標津青年会議所OB会 岩浅圭一先輩をお招きし、JAYCEE自らの使命とは」をテーマにご講演いただきました。

自己成長を求め続ける岩浅先輩から「人の意識を変えるには自分が変わらなければならぬ」とお話しいただきました。我々メンバーも自己成長を求め一人でも多くの方から共感を得るという意識を醸成することを教えていただきました。



セミナーの様子



講師 岩浅 圭一先輩

◆5月第一例会◆
担当 資質向上委員会

5月10日(水)、小樽市公会堂大ホールにて5月第一例会 責任世代としての自覚」を開催しました。

近隣LOMから30人以上のゲストに参加していただいた中、日本JCシニア・クラブ世話人 上田博和先輩をお招きし、ご講演いただきました。

起業されてから今までの経緯をユーモアを交えながらお話され最初は笑いの絶えない講演でしたが、次第に上田先輩の熱意溢れる言葉に圧倒されました。

戦後、当時の若者たちが自分の商売よりも日本の再建を優先させて活動してきた結果今の私たちがいることを教わり明るい豊かな社会の実現を理想とする青年会議所の志を再確認させられた私たちが責任世代として、次の世代に何を残すことができるのかを真剣に考えて行動しなければならぬことを学びました。

自分の心の在り方こそが、最も大切なのだとお言葉は会場にいたすべてのメンバーの心に強く打ち込まれ、私たち青年会議所がやらなければならない誰がやるのかと、これからの活動への意欲を向上させる例会となりました。



地域力向上委員会&若人 集合写真



ディスカッションの様子

◆第2回 資質向上セミナー◆
担当 資質向上委員会

3月16日(木)運河プラザ3番庫にて第2回資質向上セミナーを開催いたしました。

講師にお招きしたのは北海道地区協議会で活躍されてきた恵庭青年会議所シニアクラブ早坂貴敏先輩です。

出向による活動を通して、人との出会い、そして真実に語り合い切磋琢磨すること町の事業を成功へと導くことに繋がったというお話や、人は人で磨かれる。その経験をLOMの未来にも還元することが重要だとして講演いただきました。



講師 早坂 貴敏先輩



例会総括

◆4月第一例会◆
担当 総務・拡大意識向上委員会

4月13日(木)運河プラザ3番庫にて小樽で活躍されている他団体様や今年の取り組みである「体験JC」メンバーにも参加いただき、持続可能な地域づくりに必要なもの」と題し4月第一例会を開催いたしました。

内容は3部構成になっており、1部ではプレゼンテーションを通して地域づくりの必要性について20代から30代の若者の意識が大切であることを説明させていただきました。

2部では「これからの小樽に必要なもの」と題し、様々な分野でディスカッションしていただき、これからの小樽の課題や解決策を議論していただきました。

3部では青年会議所と地域づくりとの関わり」と題し青年会議所の現状や活動の根元についてご説明させていただきました。

メンバーのみならず、様々な分野の方達と同世代のつながりを深めることができました。



ディスカッションの様子



プレゼンテーションの様子